ココロンセンター　ライブラリー　紹介！

人権問題に関する書籍、絵本、ＤＶＤを入荷しました。
貸出を行っています。ぜひ、ご利用ください

たまごのはなし（人権全般）

ある日とつぜん目をさましたたまご。はじめて歩き、はじめて話す。マシュマロを起こしてキッチンの台を降り、探検にも出かけます。「しってるかい？じぶんがかんがえていることは、はなさなければ　あいてには　ほとんど　つたわらないんだって」疑問に思ったことをすぐに言葉にし、相手に伝える。こわいものしらずで、時には、ちょっと意地悪に聞こえることもあるけれど、それは、“わたしのなかには　たくさんの　たまごがかくれている”から。それは、ナッツたちやマシュマロもおなじこと。まずは、「自分はどう思うか？」がとても大切なことを気づかせてくれます。絵も繊細で、素敵な絵本です。

著者：しおたに　まみこ　　発行社：ブロンズ新社

アンコンシャス・バイアスをなくそう（DVD）（人権全般）

「アンコンシャス・バイアス」とは、「無意識の思い込み、偏見」と訳され、性別や属性に関して自分でも気づかないうちに偏った考え方、ものの見方をしてしまうことです。これらは、私たちの日常のコミュニケーションの中にも潜んでいて、人を傷つけてしまうこともあります。誰もが安心して働ける職場を実現するために私たちに出来ることは何か。「無意識の偏見や思い込み」が引き起こすコミュニケーションギャップの事例を挙げながら「アンコンシャス・バイアス」を取り除くために出来ることを紹介しています。

監修：博士（社会心理学）北村　英哉　　企画・製作：株式会社　自己啓発協会　映像事業部

コラム

熊本城が伝えてくれるもの

昨年末、熊本城に行った。あの未曽有の熊本地震から、まもなく９年になろうとしている。壮麗な天守閣は復興のシンボルとして、わずか５年後に復旧を終え、公開されている。先人たちが伝えてきた技、それを引き継ぎ、力を尽くした現在の職人たちの技術力と熊本城への、いや熊本城を見上げる人たちへの熱い思いを見るようで、寒空の中、背筋が伸びた。しかし、完全な復興まではあと数十年。この地震がいかに熊本の地を痛めつけたのか改めて思い知らされた。

熊本地震というと、わたしは熊本県内の大学に開設されていた避難所のニュースを思い出す。「災害時には地域の様々な人たちが避難してくる。その中には当然、地域の中で暮らす障がい者もいる。その人たちを排除、隔離しない。」という大前提をその避難所は守り通した。そしてその運営上の原則は「管理はしない、配慮する。」だったそうである。これは後にインクルーシブな避難所のモデルとしていくつもの場で紹介されている。

日本は様々な自然災害に見舞われてきた。辛く、苦しい経験と共に、我々は何らかの気づきや知恵を得たはずである。先ほどの避難所の例だけでなく阪神・淡路大震災では、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を受け取ることができなかった外国人が大勢いたことが課題として浮かび上がり、「やさしい日本語」が誕生した。

先人の知恵と職人たちの力が熊本城を復興させ、さらに美しく築いているように、わたしたちも、過去の災害で得た気づきや知恵を学びとして、日々の生活の中で、よりよい共生社会を築いていく努力を続けていかなければならないのではないだろうか。

（青木）

「感動を呼ぶ芸術は人間だけのもの？」

将棋の世界では今やＡＩがプロの棋士を上回る実力を持つようになった、ということは良く知られています。さらにＡＩは将棋のようなゲームの世界だけでなく、音楽や絵画などのクリエイティブな領域にも進出しています。例えば、ＡＩが作成した女性モデルを起用したＣＭがそのリアルさから話題になったこともあります。このようなＡＩによる創作が当たり前になることで、人間の芸術家の存在意義が問われるようになりました。様々な懸念があるＡＩによる人権侵害の一つです。しかし、ここで一つの疑問が浮かびます。ＡＩが作り出したこれらの作品に人間は果たして感動できるのでしょうか？

ＡＩは膨大なデータを基に新たな作品を作りますが、その過程には人間が持つ「ひらめき」や「感情」は含まれていません。例えば、ベートーベンの「運命」の有名な出だし“ジャジャジャジャーン”は「運命」がドアを叩く音を表しているそうですが、AIはそのような繊細な感情を表現できるのか？あるいはモナ・リザのように神秘的で人を惹きつけて止まない絵画を創造できるのか？ＡＩには申し訳ないのですが真に感動を与える作品はやはり人間にしか生み出せないのではないでしょうか。

とはいえ、日進月歩で進化するＡＩは人間には到底生み出せないような作品を創造することでしょう。ＡＩによる人権侵害は確かに心配ではありますが、人間とＡＩが共存し、そのような作品に触れ感動する日が来る、そんな未来が不安でもあり楽しみでもあります。

（森上）

「ココロンセンターだより」No.98　発行：令和７年３月　福岡市人権啓発センター
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴２丁目５番１号　健康づくりサポートセンター（あいれふ）８階
TEL092(717)1237(代表) FAX092(724)5162
E-mail:jinkenkeihatsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp
TEL092(717)1247(人権啓発相談室)
ココロンセンター 福岡　検索

法務省委託事業

令和７年３月　No.98 福岡市人権啓発センター

ココロンセンターだより
No 98

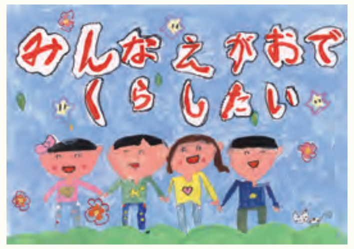
CONTENTS「主な内容」

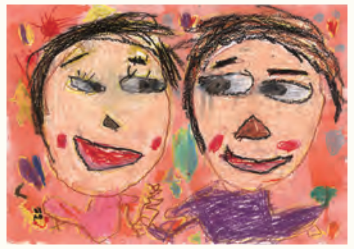
■ 福岡市人権尊重週間　人権尊重作品　入選作　………… 1P～3P
■ 書籍等紹介・コラム ……………………………………………… 4P

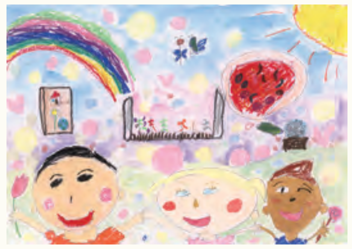
すてきな作品ありがとう

令和６年度 福岡市人権尊重週間 人権尊重作品 入選作（ポスター）

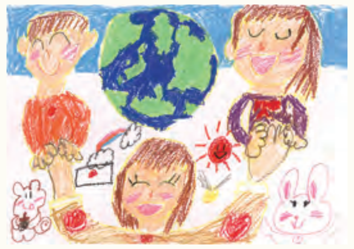
小学１年生

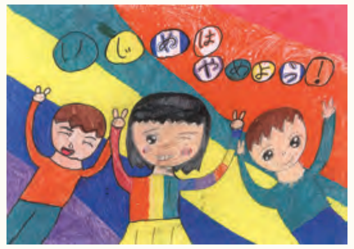

みんなえがおでくらしたい

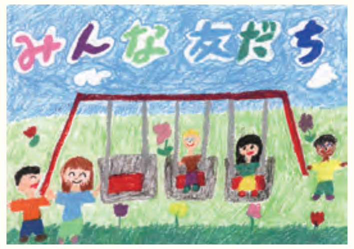




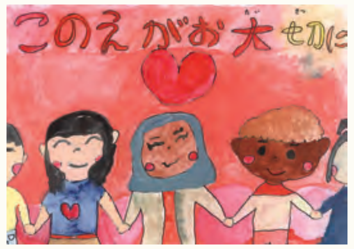
小学２年生

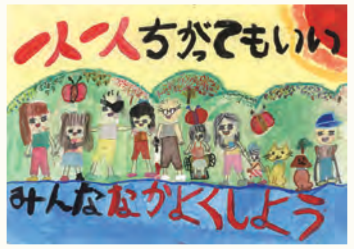


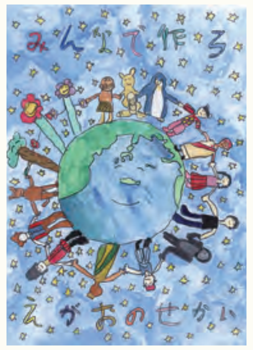


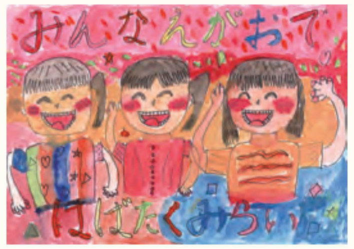


小学３年生

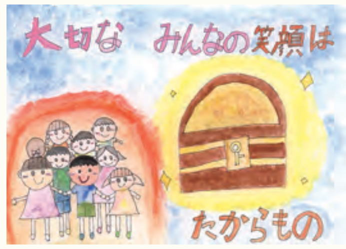


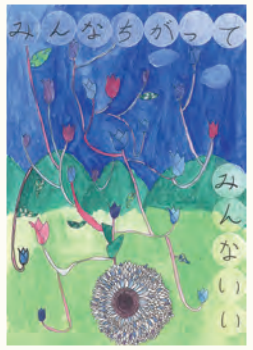

一人一人ちがってもいい
みんななかよくしよう



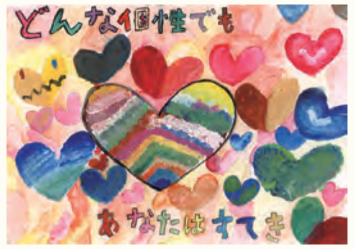


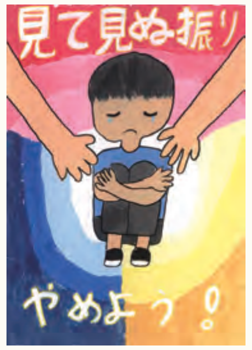
小学４年生


大切な　みんなの笑顔は



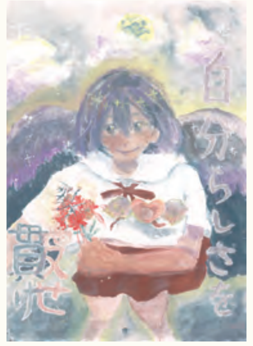
小学５年生

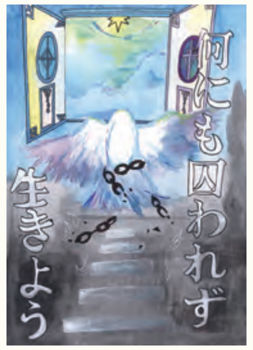


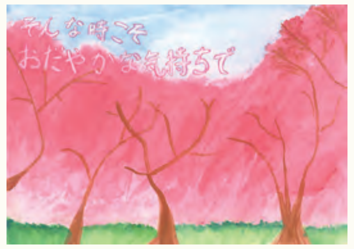


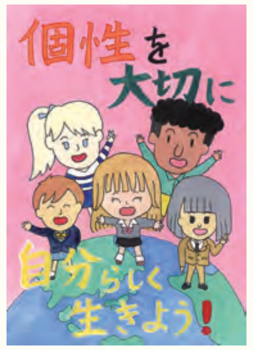
令和６年度 福岡市人権尊重週間 人権尊重作品 入選作（ポスター）

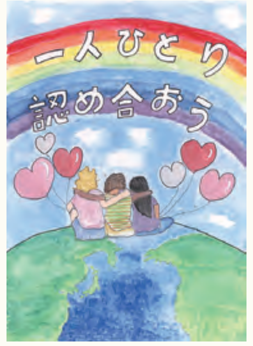
小学6年生

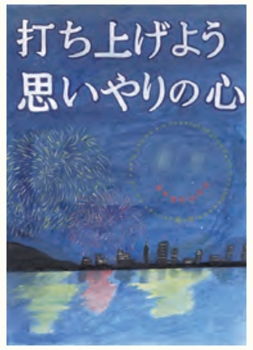



何にも囚われず
生きよう

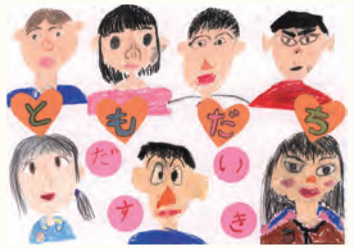

そんな時こそ
おだやかな気持ちで


個性を大切に
自分らしく生きよう!

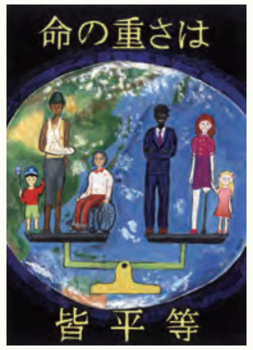

一人ひとり
認め合おう

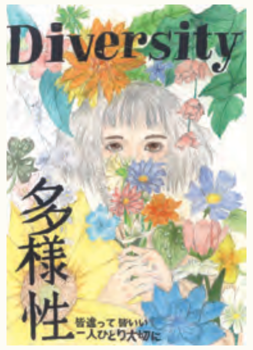

打ち上げよう
思いやりの心

小学生合作

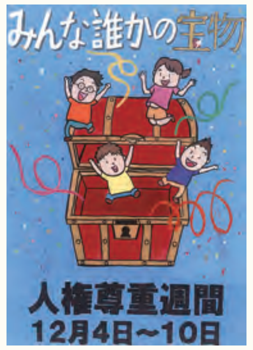


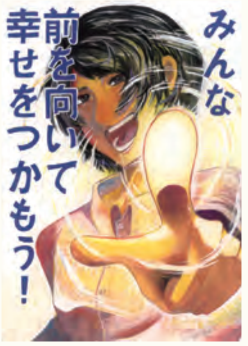
中学1年生

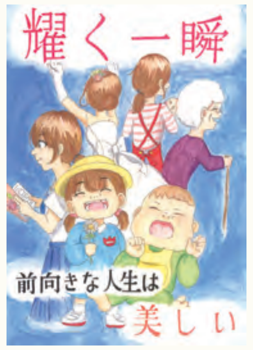



Diversity
多様性
皆違って皆いい
一人ひとり大切に

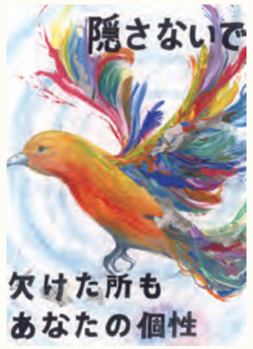
中学2年生

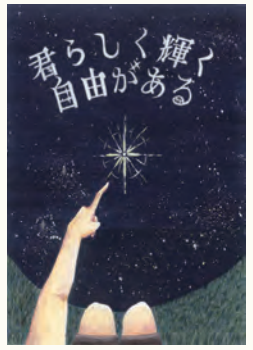

みんな誰かの宝物
人権尊重週間
12月4日〜10日

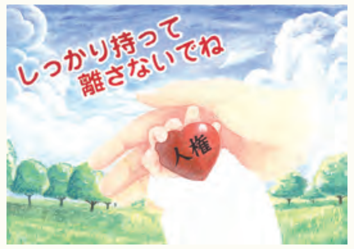

みんな
前を向いて
幸せをつかもう!

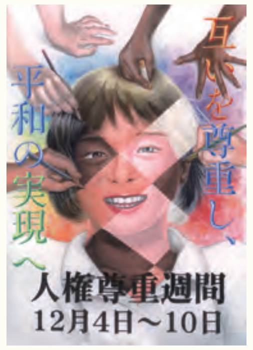

耀く一瞬
前向きな人生は
美しい

中学3年生


隠さないで
欠けた所も
あなたの個性


君らしく輝く
自由がある


しっかり持ってね
離さないでね
人権


互いを尊重し、
平和の実現へ
人権尊重週間
12月4日〜10日

令和６年度 福岡市人権尊重週間 人権尊重作品 入選作（作文）

すずの音

小学３年生

「ちりんちりん」

すずの音が聞こえると、わたしはなかよしのおばあちゃんのすがたをさがします。わたしの家のななめ前に住んでいるおばあちゃんとお友だちです。おばあちゃんは、かぎにすずをつけています。すずの音が聞こえるとおばあちゃんが近くを歩いているしるしです。

わたしが、

「こんにちは。」

と言うといつもやさしい声で

「こんにちは、さあやちゃん。」

と言ってそれからたくさんお話をします。わたしがお母さんのおなかの中にいた時になかなかうまれてこなくてとても心ぱいしていたそうです。

「ぶじにうまれて、よかったね。」

といつもその時の話をしてくれます。わたしは、おばあちゃんとお話をすると心が温かい気持ちになります。

ある時、おばあちゃんはわたしに

「今ど生まれかわったら、さあやちゃんとお友だちになりたいな。」

と言いました。わたしは、

「もうお友だちだよ。」

と言うとにっこりわらって

「あら、うれしい。ありがとう。」

と言いました。

それから少したったきょ年の冬におばあちゃんはなくなりました。きゅうだったのでとてもびっくりしました。

お母さんとおつ夜というおわかれの会に行きました。おばあちゃんは昔、絵の先生だったそうで、生とたちがかいた絵がたくさんかざってありました。おばあちゃんとお話した事を思い出してなみだが出てきました。ほかの人たちも、みんなないていました。

おぼうさんがおきょうをよんでいると、おばあちゃんとお話した事を思い出してなみだが出てきました。ほかの人たちも、みんなないていました。

はじめてわたしのまわりにいる人の「死」をけいけんしました。おつ夜の時に、おばあちゃんのむすこさんから、わたしとお話する事をいつも楽しみにしていた事を聞きました。

もう会う事は出来ないと思うとかなしいです。お母さんにおねがいしてわたしもかぎにすずをつけてもらいました。

「ちりんちりん」

今日もすずの音がします。

令和６年度 福岡市人権尊重週間 人権尊重作品 入選作（標語）

みんなある　君だけの色　大切に	小学5年生
わかりあおう　自分らしさ　きみらしさ	小学5年生
あいさつは　みんなの心　晴れやかに	小学5年生
気をつけて　ふと出た言葉は　もどらない	小学5年生
だいじょうぶ　あなたはあなた　それでいい	小学5年生
その個性　分かり合う事で　開く道	小学5年生
それいいね　皆が認める　多様性	小学6年生
認め合おう　心も身体も考え方も　みんな違ってあたりまえ	小学6年生
その言葉　自分に向けて　いえますか	小学6年生
思いやり　けんかがなくなる　いい世界	小学6年生
やさしさで　みんなの笑顔が　ふえていく	小学6年生
いいんだよ　自分が好きな　君でいて	小学6年生
しあわせは　つらい時ほど　気づきやすい	小学6年生
思いやり思うだけじゃ　変わらない　行動してこそ思いやり	中学1年生
見て見ぬふりはもうしない　勇気をもって「私」から	中学1年生
「大丈夫?」　あなたの言葉　希望の光	中学1年生
育てよう　差別に気づく　あなたの目	中学1年生
一人一人の個性を大切に　みんな、笑顔で　認め合おう	中学1年生
見つけよう　違いじゃなくて　良いところ	中学2年生
その言葉　誰かの心に　刺さらない?	中学2年生
SNS　本名だせる?　その言葉	中学2年生
その痛み　仮想じゃないよ　リアルだよ	中学2年生
違いこそ　みんなが持ってる　宝物	中学2年生
顔じゃなく　心の表情　考えよう	中学3年生
共に生き　互いに認め　歩む未来	中学3年生
違うかも　自分にとっての「あたりまえ。」	中学3年生
ありがとう　しっかり伝える　感謝の言葉	中学3年生
考えよう　言葉のボールを　投げる前	中学3年生